

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		スポーツ振興課
	06	02	01	01	01	

政策
スポーツに親しみ、触れる機会の創出

政策の内容

レクリエーションスポーツから競技スポーツまで幅広い大会等への支援や、浜松シティマラソン、ビーチ・マリンスポーツ、パラスポーツのイベント開催など交流事業の展開により、地域スポーツの振興とスポーツに触れる機会を創出し、「する」スポーツ人口の拡大を目指します。
 スポーツに関わる様々なシーズとニーズをマッチングするプラットフォームの構築により、スポーツを「する」「みる」「ささえる」に関連する個人や団体との連携を活発化させることで、新たなスポーツ環境を構築します。
 年齢、性別、国籍、障がいの有無などを問わず、誰もがスポーツを楽しむことができるインクルーシブスポーツを推進することで、共生社会の実現を目指します。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
スポーツ	浜松市では、スポーツを観戦する機会が充実していると感じますか。	2.22	2.29				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

・本市では、競技団体やスポーツ少年団、民間スポーツクラブ等による大会や教室、また浜松シティマラソンをはじめとするスポーツイベントが開催され、スポーツに関する様々な活動が行われている。
 ・R6「成人の週1回以上のスポーツ実施率」は54.0%。仕事が忙しく時間がないとの回答が多いが、手軽運動できる環境が整えば実施可能という意見も多い。
 ・R6「成人の年1回以上の会場に出向いたスポーツ観戦実施率」は39.8%。仕事が忙しく時間がないとの回答が多いが、大会などが参加しやすい場所で開催されれば参加したいとの意見も多い。
 ・R6「成人の年1回以上のスポーツ支援実施率」は12.3%。支援を行わなかった理由は「機会が無かった」「情報が無かった」が多い。
 ・様々な主体によるスポーツ活動の支援、連携促進を通じて「する・みる・ささえる」体制づくりなどハード、ソフト両面の環境整備が必要となる。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	1,106,279				
決算	854,036				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	10.3				
会計年度任用職員	2.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
スポーツ普及・活性化事業	・浜松市スポーツ推進ビジョンに基づき市民に対するスポーツ振興事業を実施する ・地域スポーツスタートアップ事業を実施する ・スポーツ健康相談事業の開催を支援する ・浜松市地域スポーツ指導者養成事業の開催を支援する	12,510
		12,158
パラスポーツ推進事業	・インクルーシブスポーツイベントを実施する ・静岡県わかふじスポーツ大会、全国障害者スポーツ大会の選手選考の実施と派遣を実施する ・市障害者団体と連携した浜松市障がい者スポーツ大会を開催する ・東海3県1市障害者スポーツ大会へ選手を派遣する ・ブラインドサッカー日本選手権準決勝ラウンド開催を支援する ・パラスポーツ等の体験会を開催する	24,982
		20,570
ビーチ・マリンスポーツ推進事業 普及促進事業	・サーフィン国際大会(スマトラン・サーファリーズ・ハママツ・オープン)開催に対して負担金を支出する ・ビーチ・マリンスポーツ普及イベントを開催する ・江之島ビーチコート整備・運営にかかる事業者選定を実施する	31,010
		24,089
浜松シティマラソン開催事業	・浜松シティマラソンの開催を通じて、市民の「する」「みる」「ささえる」スポーツの振興を図る ・令和6年度に実施した浜松シティマラソンあり方検討業務の結果を踏まえ、シティマラソンの今後について検討する	28,200
		28,200
スポーツ推進委員等活動支援事業	市内各地域におけるスポーツ事業の実施に係る連絡調整、並びに市民に対するスポーツの実技指導・助言を行うスポーツ推進委員の活動を支援する	3,134
		3,066
体育振興会等地域スポーツ普及事業	体育振興会や体育振興会支部の活動を支援する	19,381
		18,813
小中学校スポーツ施設開放事業	小中学校の体育館やグラウンド、柔剣道場等を広く市民に開放し、生涯スポーツを支援する	974,057
		736,008
静岡県市町対抗駅伝競走大会事業	静岡県市町対抗駅伝競走大会の出場選考会を開催するとともに、浜松市チームを派遣する	5,982
		5,019
ジュニアスポーツ育成事業	ジュニアスポーツの強化・競技力向上を図るための事業を実施する	3,051
		2,342
全国大会出場選手等激励事業	浜松市を代表して全国規模以上の大会に出場する者に対して激励金を交付する	3,972
		3,771

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
パラスポーツ体験延べ人数(人)	本市が主催、共催するパラスポーツ体験イベント等への参加者数	年齢、性別、国籍、障がいの有無などを問わず、市民が多様なスポーツに気軽に参加できる機会を創出するため	目標値	-	4,000	4,400	4,800	5,200	5,600
			実績値	3,491	4,397				
			達成率	-	110%				
浜松シティマラソンの開催負担金の決算額(千円)	浜松シティマラソン開催事業の負担金の実績額	市民の健康増進等を目的とするシティマラソンの走路警備等に対し支出する負担金は、安全、安心な大会開催に資するため	目標値	-	28,200	28,200	28,200	28,200	28,200
			実績値	26,200	28,200				
			達成率	-	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
パラスポーツへの興味度(%)	浜松市広聴モニターアンケート調査結果	インクルーシブスポーツへの市民理解度を毎年度アンケート項目で調査しているため	目標値	-	37	38	39	40	41
			実績値	33.6	30.8				
			達成率	-	83%				
浜松シティマラソン参加者数(人)	浜松シティマラソンの参加者数	スポーツを通じた健康増進や精神的充足に加え、社会的つながりの確保、地域経済の活性化、スポーツを媒介とした社会課題解決など、スポーツが持つ様々な価値や効果を生かし、市民が幸福を実感できるまちづくりを推進するため	目標値	-	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500
			実績値	8,105	8,678				
			達成率	-	102%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
成人の週1回以上のスポーツ実施率(%)	○	市民アンケートにおいて「過去1年間にスポーツ(運動)をどの程度行ったか」との質問に「ほぼ毎日」「週3回以上」「週1回以上」と答えた市民の割合	実績値	54	43					65
			達成率	83%	66%					
成人の年1回以上のスポーツ観戦・応援実施率(%)	○	市民アンケートにおいて「過去1年間で実際に会場に出向いたスポーツ観戦・応援をどの程度行ったか」との質問に「ほぼ毎日」「月に数回程度」「月に1回程度」「年に数回程度」「年に1回程度」と答えた市民の割合	実績値	39.8	33.1					50
			達成率	80%	66%					
成人の年1回以上のスポーツ支援実施率(%)	○	市民アンケートにおいて「過去1年間にスポーツ活動の支援をどの程度行ったか」との質問に「ほぼ毎日」「月に数回」「年に1回」と答えた市民の割合	実績値	12.3	11.1					35
			達成率	35%	32%					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

スポーツを「する」「みる」「ささえる」が相互に機能し、市民に活力が生まれ、にぎわいが創出されている。
年齢、性別、国籍、障がいの有無などを問わず、誰もがスポーツを楽しめるインクルーシブスポーツ環境が定着している。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
スポーツ普及・活性化事業	浜松市スポーツ推進ビジョンに基づき市民に対するスポーツ振興事業を実施した。 ・地域スポーツスタートアップ事業 スタートアップ支援: 15団体、参加者1,289人 トップアスリート派遣: 20回、参加者1,576人 浜松市民スポーツ祭開催: 37競技 ・スポーツ健康相談事業 個人相談: 延べ5人、講演会参加者: 延べ385人 ・浜松市地域スポーツ指導者養成事業 修了者11人	・長年にわたり、継続して実施されている事業であり、時勢を踏まえた見直し検討が必要。 ・市内競技団体が加盟する(公財)浜松市スポーツ協会との協力による地域スポーツ振興のための体制の強化に取り組んでいく。
パラスポーツ推進事業	・インクルーシブスポーツイベント(Challenge to インクルーシブ in 浜松)に、市は共催で負担金を支出した。参加者数: 4,000人 ・静岡県わかふじスポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会へ選手を派遣した。派遣者数(スタッフ・選手): 38人 ・市障害者団体と連携した浜松市障がい者スポーツ大会を開催した。参加者数: 200人 ・東海3県1市障害者スポーツ大会へ選手を派遣した。選手: 2人 ・ブラインドサッカー日本選手権準決勝ラウンド開催を支援した。入場者数: 377人 ・パラスポーツの体験会を2回開催した。参加者数: 計197人	・パラスポーツに高い専門性を有する県障害者スポーツ協会やふじのくにパラスポーツ推進コンソーシアム等との連携を図っていく。 ・誰もが身近にスポーツに親しむ機会の創出を、関係団体等の連携のもと進めていく。
ビーチ・マリンスポーツ推進事業 普及促進事業	・サーフィン国際大会「スマトラン・サーファリーズ・ハママツ・オープン」対して負担金を支出し、開催を支援した。 開催期間5日間での総来場者数: 8,000人 ・ビーチ・マリンスポーツ普及のため、はままつビーチ・マリンスポーツ体験イベントを開催した。 ビーチスポーツフェスティバル: 1,013人 マリンスポーツフェスティバル: 6,292人 ・江之島ビーチコート整備・運営にかかる事業者選定を実施した。	・サーフィン国際大会が盛況であり、市外から多く来場者があった。本市のスポーツ振興に大きな貢献が見込まれる事業に対しては、負担金や補助金により支援していく。 ・ビーチマリンスポーツの聖地化に向け、マリンスポーツの拠点整備について、競技団体や建設予定地の地元関係団体などの意見を聞く中で進めていく。
浜松シティマラソン開催事業	・浜松シティマラソンの開催した。申込者数: 計8,678人 ・令和6年度に実施した浜松シティマラソンあり方検討業務の結果を踏まえ、今後のあり方について検討した。また、マラソン参加者にアンケートを実施した。	浜松シティマラソンを「地域に愛される市民マラソン」と位置付け、浜松らしい、個性的で魅力のある、持続可能な大会を目指し、課題等を整理して検討を進めていく。
スポーツ推進委員等活動支援事業	・スポーツ推進委員の活動を支援した。 推進委員数: 236人(R7年度)	・近年では、スポーツ推進委員の担い手確保が課題となっている。 ・スポーツ推進委員は、地域スポーツ活動の中心となる組織であるため、(公財)浜松市スポーツ協会と協力し、その活動を支援していく。
体育振興会等地域スポーツ普及事業	体育振興会や体育振興会支部の活動を支援した。 支援団体数 103校区・支部	・体育振興会の活動を休止する地区が出始めている。 ・小中学校区を拠点に活動する体育振興会は、地域スポーツ活動の中心となる組織であるため、(公財)浜松市スポーツ協会と協力し、その活動を支援していく。

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
小中学校スポーツ施設開放事業	小中学校の体育館やグラウンド、柔剣道場等を広く市民に開放し、生涯スポーツを支援した。 ・小中学校140校	・予約から使用料金の支払いまでができるシステム導入後、利便が向上したことで利用者数の増につながったが、システムの不具合により利用者に不便をかける事案が多数生じている。 ・システムの管理向上や利用調整機能の導入など利用の向上に努めていく。
静岡縣市町対抗駅伝競走大会事業	・静岡縣市町対抗駅伝競走大会へ、浜松市から2チームを派遣した。 浜松市北部チーム、浜松市南部チーム	・静岡縣市町対抗駅伝競走大会に参加する浜松市チームが、市民に応援されるチームとなるよう、関係機関と連携してチーム運営を支援していく。
ジュニアスポーツ育成事業	ジュニアスポーツの強化・競技力向上を図るための事業を実施した。 ・中体連ジュニア選手育成強化事業 バレーボール、卓球など11競技 ・次世代スポーツ競技者育成事業費補助金 交付件数12件	・中体連のジュニア選手育成強化事業については、部活動の地域展開の動向を踏まえ、実施手法の見直しを検討していく。
全国大会出場選手等激励事業	浜松市を代表して全国規模以上の大会に出場する者に対して激励金を交付した。交付件数:個人 214人、団体 10件	・団体・選手の意欲高揚、郷土愛の醸成のため、当面の間は継続していく。 ・過去の贈呈者実績を活かし、より地域全体を盛り上げる仕組みづくりを検討していく。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

レクリエーションスポーツから競技スポーツまで幅広い大会等への支援や、浜松シティマラソン、ビーチ・マリンスポーツ、パラスポーツの市が主催・共催するイベント開催など、身近なスポーツ活動を幅広く推進したことで、イベントへの参加者が、前年度を上回ることができ、スポーツに触れる機会の創出、「する」スポーツ人口の拡大と地域スポーツの振興につながった。

年齢、性別、国籍、障がいの有無などを問わず、誰もがスポーツを楽しむことができるインクルーシブスポーツの普及に取り組んだことで、パラスポーツ大会等への参加者が、前年度から25%増加した。一方で、市民を対象に行っている市民アンケートでは、インクルーシブスポーツへの理解度が3割程度と低く、市民へのさらなる普及促進が課題となった。

2026年度以降においても、誰もがスポーツを楽しむことができるインクルーシブスポーツの推進に努めていく。インクルーシブプラットフォームを通じて、スポーツを「する」「みる」「ささえる」に関連する個人や団体との連携を活発化させ、新たなスポーツ環境の構築を目指す。

このほか、(公財)浜松市スポーツ協会との協力・連携による地域スポーツ振興のための体制の強化に取り組んでいく。